

主要行等の平成 24 年 3 月期決算の概要

1. 損益の状況

- 実質業務純益は、資金利益が減少している中、債券売却益等が増加したこと等により、前期に比べ横ばい。
- 当期純利益は、株式等関係損益が改善し、与信関係費用も大幅に減少しているものの、税制改正の影響などにより、前期に比べ 5.5% の減少。

(単位：億円)

	22 年 3 月期	23 年 3 月期	24 年 3 月期	前期比
業務粗利益	62,998	65,168	65,380	212
資金利益	43,407	40,336	39,148	▲1,189
役務取引等利益	11,817	12,154	12,644	490
債券等関係損益	1,842	5,921	6,901	980
うち、債券等償却(▲)	▲424	▲274	▲229	45
経費(▲)	▲33,701	▲33,013	▲33,444	▲432
実質業務純益	29,297	32,155	31,936	▲219
与信関係費用(▲)	▲9,655	▲3,922	▲1,701	2,221
株式等関係損益	622	▲2,997	▲2,097	900
うち、株式等償却(▲)	▲1,659	▲3,499	▲1,986	1,513
当期純利益	11,594	18,504	17,486	▲1,019

※与信関係費用の過去の計数には、償却債権取立益を含まない。

(参考)

	22 年 3 月期	23 年 3 月期	24 年 3 月期
貸出金(末残)	244.1 兆円	238.7 兆円	244.8 兆円

(注) 貸出金は銀行勘定計

2. 不良債権の状況

- 不良債権額及び不良債権比率は横ばい。

	22 年 3 月期	23 年 3 月期	24 年 3 月期
不良債権額	5.0 兆円	4.9 兆円	5.0 兆円
不良債権比率	1.86%	1.84%	1.84%

3. 自己資本比率の状況

- 自己資本比率は前期に比べ上昇。

	22 年 3 月期	23 年 3 月期	24 年 3 月期
自己資本比率	15.82%	17.33%	17.95%

(注1) 記載金額・比率は、四捨五入して表示。

(注2) 計数は単体ベース。なお、一部の銀行において再生専門子会社の計数を含む。